



地域研究・国際研修プログラム

プログラム区分	海外実習
主幹部署・問合せ先	現代国際学部
研修先国・都市名	イタリア・ローマ・ヌオロ・ロンドン大学
研修先	サッサリ大学
プログラム概要	<p>この研修は、主に自然災害や人口減少といった国内外の地域社会が直面する様々な課題の解決方法を座学とグループワークを通じて考える実践的な国際研修で、イタリアのサッサリ大学等を中心に、ヨーロッパやアジア各地の大学と共催して開催しているものです。講師として、世界各地の研究者、実務家が集い、バラエティに富んだ授業が行われます(言語は英語)。参加学生は、イタリア、ドイツ、ポーランド、タイ、インドネシアなど世界各地から集まり、本学の学生はこのチームに加わって具体的なまちづくりプロジェクトを進めていきます。また、期間中には、参加者がそれぞれの国の料理を作って交流会を行うなど密度の濃い交流が行われます。</p> <p>持続可能なコミュニティづくりをメインテーマとして、観光を通じた地域再生の取り組みを直に学びながら、理論と実践の循環をベースとしたプロジェクト形式の研修を行います。なお、研修期間中には、ローマ等での現地視察、観光等も行います。なお、このプログラムに参加した現地の学生が、翌春に日本に訪れるなど(非正規科目としてスプリングスクールを開催しています)、継続的な交流が行われるのも本プログラムの特徴です。</p>
	 
日程	出発予定時期：2025年8月下旬 帰国予定時期：2025年9月中旬 期間：2週間
単位認定	地域研究・国際研修プログラム A(2単位)
他学科生の受入れ	不可 受入れ可の他学科：-
語学研修の有無	無
引率者の有無	有
住形態	現地大学手配の宿泊施設
その他	現代国際学部所属の2-4年生が対象。募集時期は、例年5月初旬を予定。

体験記

地域研究・国際研修プログラムに参加して

氏名：安藤愛唯（2024年度参加）

今回イタリア研修に参加して、新しい自分と出会えて、大きく成長出来たなと感じています。このイタリア研修は、自分にとって大きな挑戦でした。今まで大きな挑戦を恐れてしてこなかった自分を変えたくて、この研修に参加しました。私は、海外に渡航経験もなく、英語が得意というわけでもなかったため、不安だらけでした。現地に着いてからの日本語が聞こえない環境は初めてで、授業も慣れるまでは聞き取ってノートをとることに必死で、自分から質問したりする事は出来ませんでした。そのため授業前に、現地で関わるプロジェクトの概要を予習したり、イタリア人学生に分からなかったところを聞いたり、行動しました。

また、フィールドワークの際は、積極的に先生に質問したり、地元の人々に関わって見たり、学ぶために様々な行動をしました。そこからだんだん授業も理解出来るようになり、グループの方向性が決まり出した時、先生に自分の意見を正確に伝えることが出来ず、とても悔しい思いをしました。自分にとってこの出来事が大きくて、そこから自分の中で何かが変わった気がします。そこから、分からないことがあれば英語だからと恐れることなく質問するようになったり、グループの中でも積極的に意見を出せるようになった。このイタリア研修に参加して、自分は大きく変わったのではないかと感じます。勉強面でも、精神面でも前進し、強くなれたように思います。

今後は、このイタリア研修での経験を生かして、愛知県・名古屋のまちづくり・観光へと貢献していきたいと考えています。今すぐにカタチにしていくことは難しいかもしれませんが、観光に携わる仕事を通じて愛知県・名古屋の新たな魅力創造を働きかけ、近い将来愛知県・名古屋が「日本一の好かれ都市」・「行きたい街ナンバーワン」に変えていきたいと思っています。そして、人々に「幸せ」を与えていける人材になりたいと考えます。

